



令和3年(2021年)第15週 2021年4月12日(月)~2021年4月18日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



ダニ媒介感染症の日本紅斑熱の報告が熊本県内で今年5件となっています。マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く、民家の裏山や裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。野山、草むら、藪などに入る時は、ダニに咬まれないように注意しましょう。

●日本紅斑熱について

日本紅斑熱は、リケッチアを保有するマダニに刺咬された場合にのみ感染します。(すべてのマダニがリケッチアを保有しているものではありません。)マダニの活動が盛んな春~秋にかけては、山菜取り、キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、野山で活動する機会が多くなるので、注意が必要です。

・症状…頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症します。発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられます。

・潜伏期間…2~8日・治療…抗菌薬の投与



マダニはわきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などの場所に咬みつくことが多い。



◆予防法は?

・マダニの刺咬を防ぐことが極めて重要です。草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用するなど肌の露出を少なくし、咬まれないよう十分にご注意ください。吸血された場合には、皮膚科などを受診してマダニを除去してもらって下さい。ダニに咬まれたり、野山に入った後に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診した際にその旨を伝えてください。

ダニ媒介感染症国内報告数

疾病名	重症熱性血小板減少症候群		つつが虫病		日本紅斑熱	
	熊本県	全国	熊本県	全国	熊本県	全国
2013年(H25)	4	48	9	436	20	175
2014年(H26)	1	61	9	344	18	241
2015年(H27)	1	60	11	320	11	215
2016年(H28)	1	60	20	505	19	277
2017年(H29)	1	90	10	447	14	337
2018年(H30)	5	77	10	456	7	305
2019年(R元)	2	101	11	404	6	318
2020年(R2)	6	78	14	536	17	421
2021年(R3年4.18現在)	2	18	0	68	5	25

熊本市ホームページ「ダニ媒介感染症に注意しましょう(SFTS、つつが虫病、日本紅斑熱など)」



期 間		2021年 14週		2021年 15週	
		4/5~4/11		4/12~4/18(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	注意!! ➡	58	3.63	67	4.19
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	8	0.50	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	9	0.56	8	0.50
感染性胃腸炎	➡	18	1.13	27	1.69
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	2	0.13
手足口病	➡	0	0.00	4	0.25
伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	➡	18	1.13	8	0.50
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	4	0.80	6	1.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00